

第72回全日本フェンシング選手権大会（個人戦）

日本人初となる
アジア選手権の
優勝を自信に
世界ランキング1位に
挑んだ山田

3等陸尉

やまだ

山田

まさる

優

（三重県出身）

優勝

2年ぶり2度目



世界ランキング1位の見延選手（右）を先手の攻撃で追い詰める山田3尉（左）

世界の見延相手に 先行逃げ切り

11月3日渋谷区 LINE CUBE SHIBUYA（旧渋谷公会堂）で行われた第72回全日本フェンシング選手権大会（個人戦決勝）が行われ、エペ種目に9月の予選を勝ち進んだ山田優（やまだまさる）3等陸尉が出場した。対戦相手は、昨年の王者で現在世界ランキング1位の見延和靖選手（NEXUSホールディング所属）だ。今年の6月に行われたアジアフェンシング選手権で優勝し

ている山田3尉は、「オリンピック前に日本一になりたい」と強い思いで今大会に臨んだ。

試合前、山田3尉は、「日頃から日本代表とともに練習しているので、お互いに手の内は分かっている。しっかり勝ちきれよう頑張りたい。」と闘志を燃やした。

ポイント先行で 試合を優位に

同時突きがお互いの得点となる「エペ」は、いかにポイントを先取り有利に試合を進めるかが勝利への鍵となる。全身どこを突いても得点となり、時には敵の腕や足も狙う一瞬の気の緩みも許されない競技だ。

試合が始まると、最初のポイントは見延選手が山田3尉の前足を一突き。すると山田3尉は積極的に前に出て距離を詰めた攻撃でポイントを返す。

山田3尉が2対1とリードすると、同時突きで互いにポイントを重ね、7対6と優勢に試合を進めた。

試合は後半に入っても激しい攻防が続き、10対10で迎えた終盤、山田3尉が先に仕掛けた。遠い間合いを得意とする見延選手に対し山田3尉は、積極的に前に出て見延選手を追い詰めた。接近戦で仕掛けたことが功を奏し山田3尉の連続ポイントで13対10と差を広げた。

終始先に仕掛け、前に出た山田3尉がそのまま逃げ切り15対12で勝利。見事2年ぶり2度目の優勝を手にした。見延選手との熱戦を制した山田3尉は、「2度目の優勝をととても嬉しく思う。ガンガン勝負しようと思っていた。」と胸の内を語った。

セコンドを務めたのは昨年同大会の女子エペで優勝を飾った妻の里衣さん。来年2月に出産予定の里衣さんとの熱いハグで喜びを分かち合った。



優勝を決めた瞬間、勝利の『雄叫び』をあげる山田3尉



セコンドを務めた妻・里衣さんと喜びのハグ

決勝戦 勝利への軌跡

15ポイント先取で勝利

	山田	山田	同突	同突	同突	山田	同突	同突	山田	同突	山田	山田	山田	同突	山田 優勝					
山田	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	10	11	12	13	14	14	15		
見延	1	1	1	2	3	4	5	5	6	7	7	8	9	10	10	10	10	11	12	12
ポイント	見延			同突	同突	同突	見延	同突	同突	見延	同突	見延				同突	見延			

PHOTO GALLERY
自衛隊体育学校フォトギャラリー

選手たちの活躍を自衛隊体育学校ホームページ・インスタグラムをご覧ください。
http://www.mod.go.jp/gsd/phy_s/index.html 自衛隊体育学校 検索



web サイト



インスタグラム